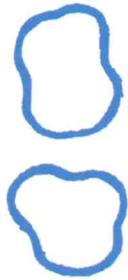


あいだ

の



ア × | × フ
ト × ク × シ

とらえかた

3.15 金 13:00 - 17:00

10:00 - 15:30 3.16 土

13:05

ブロック事業実施報告

東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

13:30

基調講演

『日常と場とアートの汽水域』

暮らしの中で場やアートをどのようにとらえるか。場やアートから暮らしをどう捉えるか。あるべき姿ではなく、今ここで自身がどう思っているのか。根本的な問いに対し、芸術を軸に様々なコミュニティを生み出しているアサダワタルさんの言葉を道じて整理してみたいと思います。

講師 / 文化活動家 アサダ ワタル



文化事業（アートプロジェクト）の企画や執筆を通じて、一人ひとりの個性と感性が生かされるコミュニティづくりに勤しむ。都市、障害福祉、小学校、復興団地の現場など、そのフィールドは多岐にわたる。著作に『住み開き 家から始めるコミュニティ』（筑摩書房）、『アール・ブリュット アート 日本』（編者、平凡社）など多数。大阪府立大学都市研究プラザ特別研究員、博士（学術）。

14:40

トークセッション I

『相談から広がるアートの世界』

障害者芸術文化活動普及支援事業の要は相談支援です。一方でセンターだけで対応できることはごくわずかです。必然とどこかにつながる必要性が出てきます。言い換えると相談があったからこそ、つながりが生まれていくのかもしれませんが。そうした繰り返してアートの世界は広がっていくのではないのでしょうか。

講師 / 岐阜県障がい者芸術文化支援センター tomoni アートサポートセンター
静岡県障害者文化芸術活動支援センターみらーと
新潟県障害者文化芸術活動支援センターらーと

15:50

講演

『記録・記憶に残すということ』

『我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか』。つないでいくのは歴史であり、日々の生活です。場面場面の積み重ねと記録によって、世界は広がっていきます。障害のある方の創作活動を支えていく上で、アーカイブの考え方を写真家であり映画監督の大西さんより語っていただきます。



講師 / 写真家・映画監督 大西 暢夫

1968年東京生まれ。東京総合写真専門学校卒業後、写真家の本橋成一氏に師事。ダムに沈む岐阜県徳山村の取材を始め、現在も全国を巡りダムに沈む村を追い続けている。そのほか精神科病棟や東日本大震災被災地など、終わりのない長期取材を続けている。著書はアウトサイダーアートの作家たち（角川学芸出版）、映画監督作品に『水になった村』（配給：ポレポレタイムス社：第16回地球環境映像祭最優秀賞）がある。

10:05

講演『Art × OO

- 広島のアートの歩みとその可能性 -』

広島県広島市安佐南区に活動拠点をおくひゅーるぼん。制度にとらわれず、本人を中心に何が出来るかを問い続け地域に必要な仕組みをカタチにしてきました。本人へのかかわりを起点に人、まちへとつなげていくおもしろさ。今回は、広島におけるアート活動の歩みと広がりについて、街や社会へのアプローチも視野に入れて理事長の川口さんからお話をお聞きします。



講師 / 認定 NPO 法人コミュニティリーダー ひゅーるぼん 理事長 川口 隆司

特別支援教育教諭を辞した後、子どもたちの育ちを支援する「こども発達支援センター」および障がいのある人の社会参加を支援する「地域活動支援センターぼんぼん」の運営を行うとともに、街づくり、ボランティア育成活動を展開している。広島で2001年より障がい者のアート支援活動を行い、2018年より認定NPO法人となる。

11:00

事例報告・実演『福井から、みんなで舞台に立とう』

講師 / みんなで舞台に立とう！を広げる会
NPO 法人福井芸術・文化フォーラム

事例報告『芸術文化を通して障がいがある人と社会がつながる機会づくり』

報告者 / 福井大学国際地域学部 3年 安藤朱音 土谷真輝 平野華

表現することが「好き」「楽しい」。実はそうした純粋な思いに、まわりと一緒に楽しみたい、もっと多くの方に知ってもらいたいといった行動に刈立てられるのでは。舞台発表『みなぶた』から目が離せません。そうした活動を側面的にフォローしている福井芸術・文化フォーラムの関わり方を聞きます。あわせて大学生×福祉施設×NPOによる初のイベント実施状況を学生からご報告いただきます。



13:30

トークセッション II 『作家と作品の間にあるもの』

センターが開設され、多くの作家との出会いがありました。作家と出会うことで、その『周り』との出会いもありました。どうやら作家と作品の間に『周り』がいっぱいつまっているようです（一概には言えませんが）。

講師 / あいちアールブリュット ネットワークセンター
富山県障害者芸術活動支援センターぱーと◎とやま
東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

14:40

ファイナルセッション『アートとフクシを考える』

答えはでないと思いますが、最後に考えてみませんか。

講師 / 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室
障害者芸術文化活動支援専門官 大塚 千枝
富山県障害者芸術活動支援センターぱーと◎とやま
東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

※ 各日、途中休憩あり

申込方法

【締切 / 2019.3.5(火)】

下記、申込書へ必要事項を記載のうえ、
FAX【025-530-7261】までご報告いただくか、
Googleフォームにてご連絡ください
(<https://goo.gl/forms/iM2xKNdVOO2JhDd02>)



申込書

所属

お名前

電話番号

メールアドレス